

ひろしま医療関連産業研究会 平成30年度事業計画について

■ 平成30年度運営方針

【広島県の医療関連産業クラスター形成へ取組】

- 広島県では、県内企業の優れたものづくり技術を活用し、生産額1,000億円の医療関連産業クラスター形成を目指して、医療・福祉分野における新たな産業の育成に取り組んでいるところです。
- ひろしま医療関連産業研究会では、これまで会員企業の生産拡大や受注拡大などの取組に対してさまざまな支援を行ってきた結果、会員企業の医療・福祉機器の開発・上市に向けた新たな取組や受注の機会なども増えてきました。一方で、医療関連産業クラスター形成に向けては、有望な新規プロジェクトの組成への取組や、県外大手企業とのマッチングなどによる販路の拡大にさらに力を入れるとともに、広島県や大学とも連携した広島における新たなイノベーション創出に向けた取組も必要となっています

【会員企業のご意見等】

- 昨年度の共同出展やセミナー等に参加された企業の皆様からのアンケートでは、参加された事業については一定の評価を得るとともに、本年度も引き続き支援事業の開催を希望されています。
- 要望としては、共同出展についてはできるだけ商談の可能性が高い展示会への参加、また具体的な企業の先進事例を題材にしたミニセミナーなどを開催してほしいといった声がありました。
- また、昨年度の第2回役員会では、医療機器に関する販路や商慣習の習得の機会、製造業取得企業と製販企業とのマッチング機会、開発した製品について病院・施設への周知機会、先行企業からの情報提供の機会、会員企業同士の交流の機会をつくることなどの意見、要望がありました。

<H30運営方針～重点取組>

広島県の施策の動向や研究会会員企業のご意見等を反映し、平成30年度では、次の事業に重点的に取り組むたいと考えております。

I 県外企業からの生産受託や部品受注などの取引の拡大を目指す会員企業に向けた支援

⇒ 県外大手企業医療機器メーカー等とのビジネスマッチングやネットワークづくりのため、効果的な全国展示会、学会、商談会への参加支援とその後の商談等に向けての支援などを行います。(受注拡大支援)

II 医療・福祉機器の開発に取り組む会員企業に向けた支援

⇒ ・個別企業の課題やニーズに応じたサロン、セミナーの開催（先行企業の取組事例や開発手法、品質管理体制などをテーマ）、県補助金の活用、実証フィールドでの現場の意見聴取、また会員企業同士の情報交換などの場を提供します。

・企業と医療関係者等によるワークショップでの有望な新規テーマの掘り起こしなどを行います。

Ⅲ 製品の販売拡大を目指す会員企業に向けた支援

製品の周知や販路開拓を目指した展示会、学会への出展支援や販社・商社等との個別マッチング支援、HPでの製品紹介や製品の商社パンフレット掲載に向けた支援を行います。

Ⅳ イノベーション創出に向けた事業（県、大学との連携）

医療、ヘルスケア分野の新たなイノベーションが生まれやすい仕組みや環境を整備するため、広島県独自の取組である実証フィールドの活用や医療機器開発のエキスパート人材育成のためのバイオデザイン・プログラムの実施、県内大学、医療機関等の優れたニーズ・シーズと県外企業とのコラボなどに取り組みます。

<H30推進体制>

- ひろしま産業振興機構に常勤の医工連携コーディネーター3名と非常勤の専門分野(薬事認証等)のアドバイザー1名を配置し、県医工連携プロジェクトチームと緊密な連携を図りながら、企業訪問等により会員企業からの課題やニーズを把握し、各種支援事業を推進します。
- また、全国レベルでの企業、研究機関、先進地域などと連携を図るとともに、個別企業の課題解決に向けて、県内外の専門家等を活用し、技術動向調査、専門家派遣による相談、マッチング支援等を実施していきます。

■ 支援のねらいと具体的な事業

I 会員企業の受注拡大に向けての支援

県内外大手医療機器メーカーなどから医療機器等についての生産受託や部品受注などの取引の拡大を目指す会員企業を対象として、全国展示会や学会への出展やその後の商談等に向けた支援や県外企業とのネットワークづくりの支援、製販企業等との個別マッチングに向けたコーディネーターによる支援、展示会や商談で活用する試作品の作成経費の補助等の支援を行います。

(1) 県外大手企業からの受注機会創出（全国規模の展示会への共同出展等）

○ MEDTEC Japan 2018への共同出展

事業項目	内 容	時期等
MEDTEC Japan 2018 への共同出展	<ul style="list-style-type: none">・MEDTEC Japan 2018 への共同出展により、来場する製販企業、商社との商談の獲得やネットワークづくり、大学や支援機関との連携の契機とします。【8社参加】・展示会後の商談等に向けたコーディネーターによる支援を行います。・次回の出展に向けて今回の出展の成果等について会員企業へ情報提供します。	4月18日～20日（東京ビックサイト） 出展状況情報提供は7月頃

○ MEDTEC Japan 2019への共同出展

事業項目	内 容	時期等
MEDTEC Japan 2019 への共同出展	<ul style="list-style-type: none"> ・MEDTEC Japan 2019 への共同出展により、来場する製販企業、商社との商談の獲得やネットワークづくり、大学や支援機関との連携の契機とします。 【8社程度】 ・出展に向けて事前に出展戦略を策定し参加企業の募集や説明会を実施します。 ・展示会後の商談等に向けたコーディネーターによる支援を行います。 	<p>H31年3月18日～20日（東京ビックサイト）</p> <p>出展企業の募集は8月頃から、説明会は2月実施予定</p>

○ MEDI X関西（広島市広域都市圏共同出展事業）への共同出展

事業項目	内 容	時期等
MEDI X関西への共同出展の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市の広域都市圏共同出展事業によりMEDI X関西に参加し、来場する製販企業、商社との商談の獲得やネットワークづくり、大学や支援機関との連携の契機とします。【4社程度】 ・展示会後の商談等に向けたコーディネーターによる支援を行います。 	<p>H31年2月（インテックス大阪）</p> <p>出展企業の募集時期等は広島市と調整予定</p>

○ 製販企業等との個別マッチング支援

事業項目	内 容	時期等
経産局等が主催するニーズ商談会でのマッチング機会の提供	<p>医療機器に関するニーズ商談会でのマッチング等に向けコーディネーターが会員企業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東経済産業局ニーズ商談会（8月、2月） ・大阪商工会議所商談会（10月） ・中国経済産業局（医の芽ネット）ニーズ発表会（11月～） <p>（※時期は昨年度実績）</p>	各商談会のニーズ発表後
個別企業からのニーズに基づくマッチング機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターが関東・関西方面の医療機器メーカーを訪問し、OEM等のニーズを把握するとともに会員企業の技術分野等に応じたマッチングを支援します。 ・MT JAPANマッチングサイトへの登録を推進し、マッチング機会の増加を図ります。 	随時
展示商談会後のマッチングのフォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターが展示会や商談会後の企業マッチングのフォローを行います。（再掲） 	随時

○ 展示会補助金・試作品製作等補助金

事業項目	内 容	時期等
開発した医療・福祉機器等の展示会出展補助	会員企業が開発した機器、製品や部材加工技術等を、企業の事業戦略に沿って展示会・学会へ出展する場合の出展費用を助成します。 【上限：年30万円/社、補助率1/2】	6月、9月に募集
展示会や個別商談等で必要な試作品製作等への補助	会員企業が事業戦略に沿った①展示会出展や個別商談の際に必要な試作品の製作、②製品・部材の評価・分析に要する経費を助成します。 【上限：年50万円/社、補助率1/2】	6月以降随時募集
薬事対応やISO13485の取得に当たっての相談経費の補助 新規	会員企業が事業戦略に沿った薬事対応やISO13485の取得に当たっての第三者認証機関やコンサルへの相談に要する経費を助成します。 【上限：年50万円/社、補助率1/2】	6月以降随時募集

○ 広島開催の全国学会を活用した医療関連企業出展の企画・開催

事業項目	内 容	時期等
日本皮膚科学会総会での地元医療関連企業出展の開催 新規	日本皮膚科学会の全国総会において、地元の医工連携企画出展としてひろしま医療関連産業研究会で会員企業と共同出展を行い、全国から参加する医療関係者、大学、企業との連携の契機とします。 【10社参加】	H30年5月31日～6月3日（クレドホール）

○ 新たな全国展示会等への共同出展（計画中） **新規**

- ・日本医師会セミナー（広島開催）への出展（10月13日）
- ・MT JAPAN マッチングサイト交流セミナー（東京開催）への共同出展（11月）

II 会員企業の生産拡大に向けての事業

(1) 開発支援

医療・福祉機器の開発・事業化に取り組む会員企業を対象として、コーディネーターが企業訪問などで個別の課題などを把握しながら、県補助金や外部補助金の活用についての支援、実証フィールドを活用した医療・福祉施設など現場の専門家からの評価・意見の聴取についての支援、また、開発などに際して個別の課題解消を図るためのセミナー、ワークショップを企画、開催します。

○ 県補助金制度（事業創出補助）、外部資金獲得（経産省、AMED）

事業項目	内 容	時期等
県補助金に関する支援 （ひろしま医療関連産業創出事業補助）	コーディネーターによる補助申請の事前指導、助言、採択後の事業化へのフォローを行います。 ※一般：上限300万円、補助率1/2 連携：上限600万円、補助率2/3	公募5月、決定6月 採択予定5件程度
経産省・AMED採択事業に関する支援	各事業の申請時の指導、プロジェクトマネージャーの派遣など課題解決に向けて支援を行います。 ※H29は経産省中核企業創出支援事業・AMED医工連携事業化推進事業の継続事業が対象	—

○ 実証フィールドの活用、専門家意見交換会

事業項目	内 容	時期等
医療機器：実証フィールドの活用	会員企業の医療機器開発の企画、試作品、製品等について、コーディネーターが調整、同行し、医療現場等での評価、意見を得ることができます。	随時
福祉機器：実証フィールド活用・専門家意見交換会	会員企業の福祉機器開発の企画、試作品、製品等について、コーディネーターが調整、同行し、福祉現場等での実証や、理学療法士・作業療法士などの専門家からの評価、意見を得ることができます。	随時 意見交換会は秋頃 （調整中）

○ 医療・福祉機器等の開発における課題解消に役立つセミナー、ワークショップの開催

事業項目	内 容	時期等
新規分野への事業参入の実際とポイントについてのミニセミナー	○医療機器の部材加工等に取り組む会員企業を対象とし、インプラントなどの新規分野への参入に向けた市場動向、参入のポイントなどについての講演との意見交換を行います。	7月開催予定 5社程度
品質管理体制についての基礎講座	○医療機器開発、部材加工等に取り組む企業が理解しておかなければならない品質管理体制とその実践などに関するセミナーを開催します。	8月開催予定 10社程度

医療機器・福祉用具に関する商品企画検討のワークショップ	○医療機器・福祉用具業界への参入加速を目指す企業を対象とした商品企画の検討ワークショップを開催します。 (昨年度の仮想カタログワークショップの続編)	9月開催予定 5社程度
医工連携に取り組む中小企業の先進事例と押さえるべきポイント	○医療機器・福祉機器に取り組む中小企業の先進事例の紹介とポイントについての講演と意見交換を行います。	調整中 10社程度
新たな医工連携事業テーマ探索のためのニーズ・シーズ発表会(大学研究室訪問等)	○新たな開発テーマを探している企業を対象として、医工連携に実績のある大学研究者等からの医療、介護福祉分野でのニーズ・シーズの発表と意見交換を行います。	未定

※ 上記のほか、会員企業のニーズ等に基づき随時企画・開催する予定です。また、これらのセミナー等は「ひろしま医工連携サロン」形式で開催しますので、参加される会員企業の情報交換など交流の場としても活用いただければと思います。

○ コーディネーター、国（経産省）の伴走コンサル・専門家、県の薬務課、総合技術研究所等による個別支援

事業項目	内 容	時期等
コーディネーター（ひろしま産振構医工連携推進センター）による支援	医療・福祉機器の開発、事業化に伴う企業の課題についてコーディネーターが企業を訪問しながらニーズ把握や個別相談への対応を行います。 ～内容により他の産振構内の他部門や外部の専門機関と連携して個別支援を実施します。	随時
国（経産省）の伴走コンサル・NPO専門家派遣等による個別支援	医療機器の開発、事業化に伴う企業の課題について、経済産業省の伴走コンサル、専門家派遣により企業の個別課題の解決を支援します。	随時
県の薬務課による指導・助言等	医療機器等の開発、事業化に伴う製造業、製版業の取得、薬機法の医療機器認証、ISO13485の取得等に関する相談対応等を行います。	随時
県の総合技術研究所による指導・助言等	医療・福祉機器の開発、事業化に伴う技術的な課題について相談対応、技術支援等を行います。	随時

※ これらの支援に当たっての窓口は産振構又は県医工連携PTで対応します。

○ メールマガジンやHPでの情報提供

会員企業に対して、ひろしま医療関連産業研究会の各種支援事業のお知らせや実施状況、国、公共団体などの制度や補助事業に関する情報、関係機関が主催する全国展示会やセミナー、ニーズ発表会等の開催情報、薬機法の関連規定等の改正情報について随時提供します。

Ⅲ 会員企業の販売拡大に向けての事業

会員企業が支援を活用して上市した製品の販売促進

医療・福祉機器など県や産振構の支援を活用して上市した製品等の販売促進に取り組んでいる企業を対象として、展示会や学会などへの製品出展の支援、新製品についてのHP掲載や記者発表の調整など広報の支援やコーディネーターによる商社パンフレット掲載に向けた橋渡し、販社、商社との個別のマッチング活動の支援などを行います。

○ MEDTEC Japan 2018への共同出展（製品出展）（再掲）

事業項目	内 容	時期等
MEDTEC Japan 2018 への共同出展	<ul style="list-style-type: none"> ・MEDTEC Japan 2018 への共同出展により、来場する製販企業、商社との商談の獲得やネットワークづくり、大学や支援機関との連携の契機とします。 【8社参加】 ・展示会後の商談等に向けたコーディネーターによる支援を行います。 ・次回の出展に向けて今回の出展の成果等について会員企業へ情報提供します。 	4月18日～20日（東京ビックサイト） 出展状況情報提供は7月頃

○ MEDTEC Japan 2019への共同出展（製品出展）（再掲）

事業項目	内 容	時期等
MEDTEC Japan 2019 への共同出展	<ul style="list-style-type: none"> ・MEDTEC Japan 2019 への共同出展により、来場する製販企業、商社との商談の獲得やネットワークづくり、大学や支援機関との連携の契機とします。 【8社程度】 ・出展に向けて事前に出展戦略を策定し参加企業の募集や説明会を実施します。 ・展示会後の商談等に向けたコーディネーターによる支援を行います。 	H31年3月18日～20日（東京ビックサイト） 出展企業の募集は8月頃から、説明会は2月実施予定

○ 福祉用具展示会出展&セミナーin 広島への出展・宣伝

事業項目	内 容	時期等
福祉用具展示会&セミナーin 広島の展示参加～販路開拓、現場の専門家からの意見収集	開発した機器、製品についてのブース展示、セミナーでの宣伝により、参加する商社との販路開拓の契機づくりを図るとともに、福祉施設・病院スタッフ、理学療法士・作業療法士への認知度アップ、製品への意見、アドバイスを得的場として開催	11月開催予定（広島産業会館） 5～10社程度

○ 既製品販売促進支援（広報支援、パンフ等掲載支援）

事業項目	内 容	時期等
研究会企業の製品についての広報支援、商社等のパンフレット掲載支援	会員企業が開発した製品（一般消費者向け福祉機器、雑品）について ・マスコミへの新製品の広報についての支援 ・医療・福祉機器商社のパンフレット掲載に向けての橋渡しなどの支援	随時

○ 展示会出展補助金（再掲）

事業項目	内 容	時期等
開発した医療・福祉機器の展示会出展補助	会員企業が開発した機器、製品を、企業の事業戦略に沿って展示会・学会へ出展する場合の出展費用を助成します。【上限：年30万円／社、補助率1／2】	6月、9月募集

○ 販社、商社との個別マッチング活動

事業項目	内 容	時期等
開発した医療・福祉機器についての販路に関するマッチング活動	会員企業が開発した機器、製品の販売に関するアドバイスや販路の開拓を図るため県内外の販社や商社とのマッチング活動を行います。	随時

IV イノベーション創出に向けての事業

広島県において、医療、ヘルスケア分野の新たなイノベーションが生まれやすい仕組みや環境を整備します。

(1) 実証フィールドの構築

○ 広島市内の4基幹病院の連携による治験・臨床研究フィールド（広島県）

広島大学病院，県立広島病院，広島市民病院，広島赤十字・原爆病院の4基幹病院での被験者相互紹介、受託調整、臨床研究支援等を通じて、医療機器等の開発を実施しやすい環境を整備し、地域医療の質の向上や県内の医療関連産業活性化を目指します

【取組の経過】

- ・ H25～ 症例集積性の向上（4病院の相互の被験者紹介）
- ・ H27～ 治験等の受託調整（県が窓口となり，4病院に企業からの治験等の受託）
- ・ H28～ 医療関連産業新規参入ガイドブック作成（臨床データ収集のフローと手続き）
- ・ H28～ 研究者向けの臨床研究セミナーの開催
- ・ H29 臨床研究を適正に実施するための事例集の作成 など

○ 医療・福祉現場の徹底的な観察ができる観察フィールド

企業の研究・開発担当者が病院、福祉施設等で現場観察を行うとともに、医療関係者、介護関係者等と意見交換を行いながら新たな事業、製品開発のアイディアの創出を狙いとした観察フィールドを展開しています。

【取組の経過】

- ・ H28～ 企業の研究・開発担当者が病院で現場観察，医療関係者との意見交換
 - ① 分野・疾患の特定⇒②病院関係者との面談⇒③観察準備⇒④病院施設内での観察，意見交換⇒⑤潜在的なニーズ・課題の発見⇒⑥事業化アイディア
- ・ H29～ 企業の研究・開発担当者が福祉施設等で介護現場を実体験
 - ① 実体験⇒②介護関係者等との意見交換⇒③製品改良，新たな製品のアイディア

(2) バイオデザイン・プログラムの推進

バイオデザイン・プログラムは、米国スタンフォード大学で設立された医療機器開発人材の育成のためのプログラムであり、高い成果を上げていることから、インド、シンガポール、アイルランド、イギリスで導入されています。国内においても、東北大、東大、阪大で開設しており、広島県でも広島大学と連携してバイオデザイン・プログラムの導入に向けて取り組んでいます。

【取組の経過】

○ インド・バイオデザインとの連携

- ・ H28. 12 広島大学とインド・バイオデザイン（全インド医科大学等）の MoU 締結
- ・ H29. 1 広島大学の医師がインド・バイオデザインに派遣（H29. 12 まで）
- ・ H29. 6 インド・バイオデザイン（教授，チームメンバー等）が来広
- ・ H30. 2 広島大学からインド・バイオデザインに2人目の派遣（現在派遣中）

○ ジャパン・バイオデザインとの連携

- ・ H29. 5 スタンフォード大学池野医師の広島大学大学院での特別講義
- ・ H30. 6 スタンフォード大学池野医師の広島大学バイオデザイン演習での特別講義

○ 広島大学のバイオデザイン・プログラムの実施

- ・ H29. 9～プログラム開設準備
- ・ H30. 3～県内企業に対する個別学習指導
- ・ H30. 4～バイオデザイン概論講義（15コマ）
- ・ H30. 6 バイオデザイン演習（4日間）
- ・ H31. バイオデザイン・プログラム（フェローコース）開設準備